

# 補足資料

【別添①】「総務省通知（総税市36号\_令和6年4月1日）」をご参照ください

## 【資料②】

## 札幌市の公衆喫煙所数に関して

- 札幌市は規制面積あたりの公衆喫煙所数が2か所しかなく、他自治体と比較しても低位である  
(内1ヶ所は「大通5丁目実証実験喫煙所」)

自治体名	公衆・指定 喫煙所数	規制面積 (ha)	喫煙所1か所あたりの 規制面積カバー (ha)
札幌市	2	86.7	43.4
東京_千代田区	78	1,024	13.1
東京_港区	106	2,037	19.2
横浜市	19	45.7	2.4
名古屋市	3	45.2	15.1
京都市	19	138	7.3
大阪市	238	22,532	94.7
福岡市	8	164	20.5
熊本市	2	2.5	1.3

### 【資料③】

札幌市中心部における、喫煙に関する苦情が多いエリアおよび、実態調査における路上喫煙が多いエリア



出典：札幌市環境局\_第2回札幌都心部の喫煙対策に関する検討会資料

<藤本事業廃棄物課長>

3点目の巡回指導、啓発、喫煙所についてです。

まず、喫煙所については、エリアを拡大する以上は吸う場所をきちんと確保して規制の実効性を確保できるようにするべきというお話、また、喫煙所のコストについては、設置や維持管理のトータルで見たときにどう考えていくのか、きちんと検討すべきというお話でした。たばこ税の活用の話もありましたし、宿泊税は、旅行者はたばこを吸う方だけではないということで、宿泊税の活用についてもご意見があったかと思います。

ちなみに、来年度の予算要求で宿泊税の活用について要求をしているところなのですが、まだ喫煙所の整備の話は入っておらず、周知啓発や巡回体制を強化するために活用するというので案を出しております。

出典：札幌市環境局\_第2回札幌都心部の喫煙対策に関する検討会議事録

#### 目指すべき姿

規制や周知啓発の見直し、喫煙所を含む環境整備によって、市民・観光客の喫煙マナー向上を通じた「観光都市さっぽろにふさわしい環境美化」



出典：札幌市環境局\_第2回札幌都心部の喫煙対策に関する検討会資料

## 【資料⑤】

# 大通西5丁目実証実験喫煙所\_アンケート調査結果(建設局\_2024年)

## (2) アンケート調査結果

5日間で合計845件の回答が得られた(公園利用者 658件/喫煙所利用者 187件)。

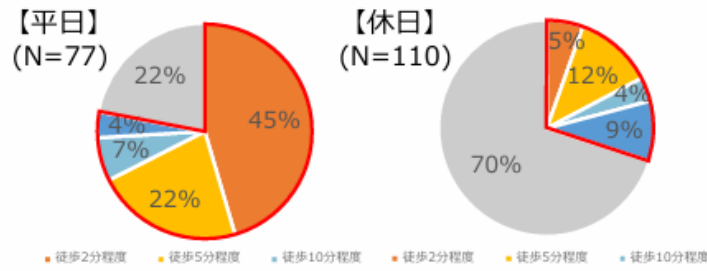
### 1) 回答者の属性

- ①公園利用者 ✓ 男女比は1 : 1 (N=294、321)  
 ✓ 20代~70代が概ね満遍なく回答  
 ✓ 8割以上は非喫煙者 (N=560)

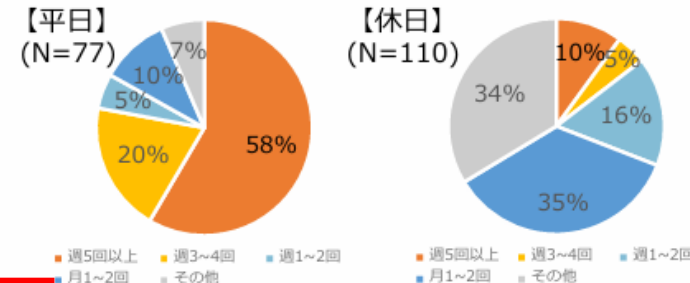
- ②喫煙所利用者 ✓ 男女比は3 : 1 (N=125、48)  
 ✓ 回答者の7割近くが30~50代

### 2) 喫煙所利用者の傾向

- ①公園周辺の活動拠点(職場・住居)の有無  
 平日は78%、休日は30%が活動拠点ありと回答

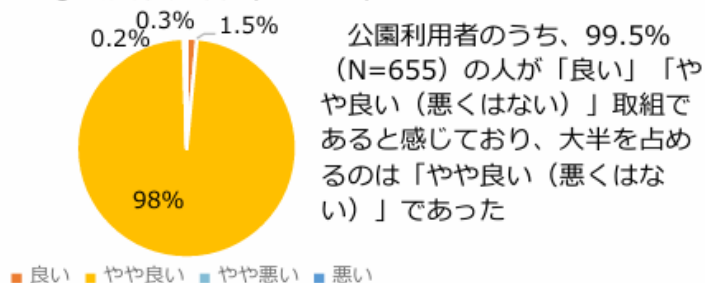


- ②喫煙所の利用頻度  
 平日は83%、休日は31%が週1回以上利用

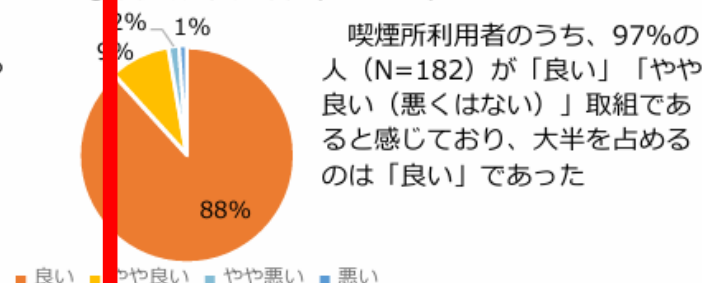


### 3) 吸う人・吸わない人を住み分ける取組に対する是非

- ①公園利用者 (N=658)

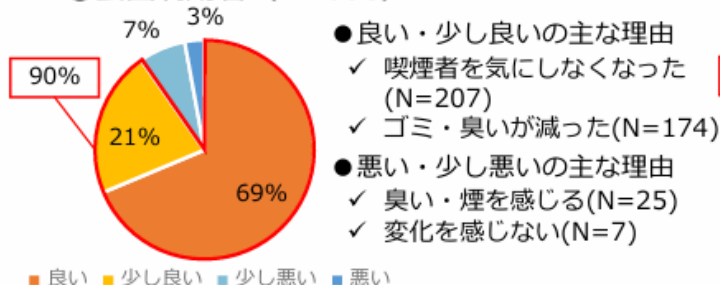


- ②喫煙所利用者 (N=187)

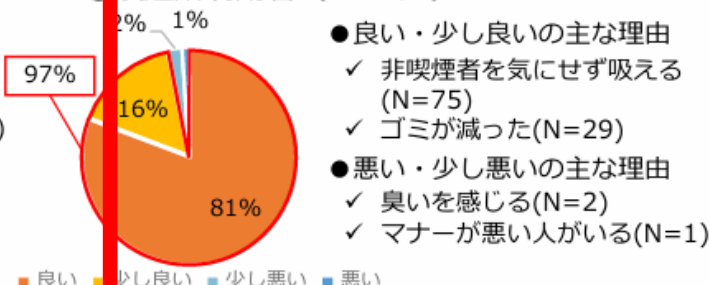


### 4) 喫煙所設置による公園の過ごしやすさの変化

- ①公園利用者 (N=658)



- ②喫煙所利用者 (N=187)



## 【資料⑥】

## 他自治体における分煙環境整備の状況

地域	令和6年度たばこ税額 (単位:百万円)	屋外規制 有無	公衆喫煙所 (箇所数)	民間助成金制度		
				有無	助成対象	助成金
大阪市	32,149	有	238	有	屋内・屋外	■設置費用:限度額10,000千円 ↳※地下施設の場合20,000千円 ■運用費用:年間1,440千円 ↳※供用開始日から5年間
横浜市	22,911	有	19	有	屋内・屋外	■設置費用:限度額10,000千円 ↳※喫煙所面積20㎡以上
名古屋市	17,112	有	3	有	屋内・屋外	■設置費用:限度額10,000千円 ↳※喫煙所面積20㎡以上 ■運用費用:年間1,440千円 ↳※供用開始日から5年間
札幌市	16,223	有	2	無	-	-
福岡市	13,170	有	8 (県4/市4)	無	-	-
神戸市	101 ※単位:億円	有	10 (市3/民間7)	有	屋内・屋外	■設置費用:限度額10,000千円 ↳※地下施設の場合20,000千円

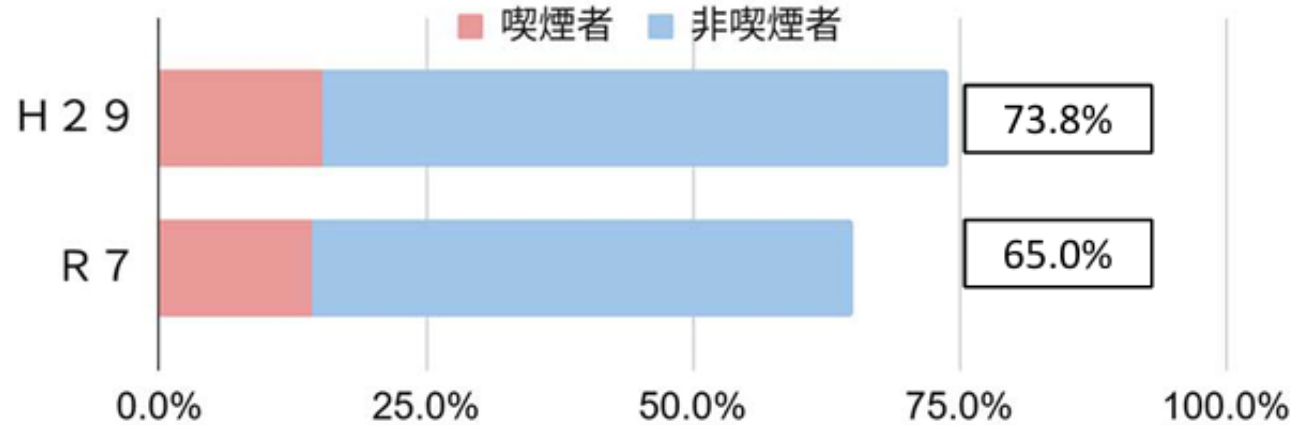
※たばこ税額に関しては各自治体の決算報告書を確認

【別添②】「プランワークス社 札幌市内における分煙環境整備について」をご参照ください

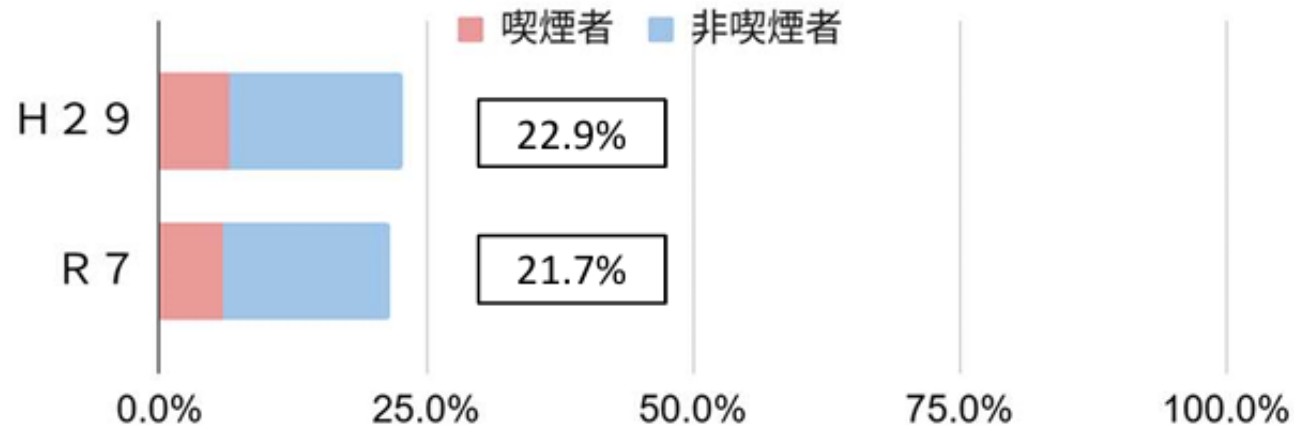
出典： 株式会社プランワークス 「札幌市内における分煙施設の整備について」  
[https://planworks.jp/20260116\\_sapporo/](https://planworks.jp/20260116_sapporo/)

## 喫煙制限区域に対する市民の認知

Q3. 「喫煙制限区域の公共の場所で吸い殻入れがそばに設置されていないときは喫煙してはいけない」ことを知っている



Q4. 「喫煙制限区域が南北：北8条通りから国道36号線、東西：西1丁目～西4丁目の範囲である」ことを知っている



## 道内宿泊外国人の喫煙率

- 道内宿泊者数TOP10のうち、半数の5か国で20%を超える喫煙率
- 諸外国では屋外喫煙可能な国が多く、対策は必須と史料



- 日本旅行中に困ったことをアンケート調査したところ、  
『喫煙できる場所の少なさ・わかりにくさ』が第8位にランクイン
- たばこを吸う習慣がある回答者に絞ると44.3%に上り、不便に思うことで最多回答

日本旅行中、あなたが困ったことをすべて教えてください（複数回答） n=891



他にも外国人旅行者が訪日中、不便に思うことについては、6位「その他決済手段（モバイル決済等）」、7位「クレジットカード／デビットカードの利用」となり、ショッピングなどの支払い方法に関するものが並んだほか、8位には「喫煙できる場所の少なさ・わかりにくさ」が入った。

8位の「喫煙できる場所の少なさ・わかりにくさ」については、たばこを吸う習慣がある回答者に絞ると4割超（44.3%）に上り、訪日中不便に思うことで最多の回答に。国や地域によって法規制やマナーが異なる喫煙について、不慣れな日本で戸惑っている外国人旅行者の様子が伺えた。

同社は今回の調査結果から、外国人旅行者受け入れのための環境整備が進んでいるとはいえ、まだ不十分な点があることが分かったと説明。Wi-Fi環境等インフラ面の整備や訪日層に合わせた多言語情報の発信を、あらためて見直す必要性を指摘した。

- ・調査機関：訪日外国人向け旅行情報サイト『GOOD LUCK TRIP』
- ・調査対象者：海外在住\_10-60代以上の男女891名
- ・調査期間：2023年5月9日-15日